

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
 (仮称)総合老人福祉施設 はぎの星 オアシス

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.0
Q1 室内環境			0.40			3.1
1 音環境		2.6	0.15	2.5	1.00	2.5
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00	
1.2 遮音		3.0	0.40	2.8	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重衝撃源)		-	-	2.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境		2.8	0.35	3.0	1.00	2.9
2.1 空調制御		2.7	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2 湿度		-	-	-	-	
3 外皮性能		2.0	0.25	3.0	0.43	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.3	0.25	3.6	1.00	3.4
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率	居室、共用部の外壁部に大きな開口を設けている。	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30	
1 眩れ防止		-	-	-	-	
2 昼光制御	住居・宿泊部分は、庇及びカーテンによる制御	3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.5	0.25	3.8	1.00	3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	使用している材料は全て☆☆☆☆が規制対象外	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.30	3.6	0.38	
1 換気量	居室面積の10分の1以上の換気開口を確保	3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能			0.30			3.1
1 機能性		3.0	0.40	4.2	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性	入居者居室は、全室個室とし、全て10㎡以上	-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	C以上の材種を使用	4.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.2	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備	非常用発電機を設置。電源・精密機器等は地下に設置していな	4.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			2.6	0.29	3.0	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			3.0	0.30			2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30			3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域交流スペースを設置している。	4.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.0
LR1 エネルギー				0.40			2.9
1 建物の熱負荷抑制			2.0	0.30			2.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		空調に関しては、高効率かつ個別制御がしやすいものを採用し	3.8	0.30			3.8
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR=13.9%	3.0				
集合住宅の評価							
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.2
1 水資源保護			3.0	0.15			3.0
1.1	節水		3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63			3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	陶磁器タイル、OAフロア	4.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	大部分を躯体+軽鉄干仕上げ材として分別が容易である。	4.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68			
1	消火剤			-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			2.9
1 地球温暖化への配慮		高効率の設備機器を採用	3.4	0.33			3.4
2 地域環境への配慮			2.4	0.33			2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25			
1	雨水排水負荷低減			-			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制		3.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33			3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動			-			
3	悪臭			-			
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制			-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.7	0.20			
1	屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策	目的に応じた適切な照度を確保し、屋外照明は周辺との調和を換	4.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			